

美術館の鑑賞マナー

鑑賞にあたって

館内での飲食の禁止

食べ物や飲み物が作品に付着するのを防ぐ為です。ガムやあめ等を口に含んでの鑑賞はご遠慮下さい。飲み物は館内に持ち込まないで下さい。

写真撮影の禁止

ストロボの光は絵具に悪い影響を与えます。また、作品にかかる著作権上、カメラや携帯電話などでの撮影はご遠慮下さい。

作品にはさわらない

作品に触れて皮脂が付着すると数年後にカビや化学変化によって変色します。作品はデリケートで温度・湿度の変化や直射日光に弱いため、美術館内は一年中一定の温度と湿度を保つように管理されています。

走ったり、ふざけたりしない

他の人にぶつかって怪我をしたり、作品を傷つけてしまう危険があります。また、他のお客様の迷惑にならないようゆっくりと鑑賞しましょう。

大声を出さない

必要以上に大きな声を出すと、他のお客様に迷惑になります。できるだけ静かに作品を楽しみましょう。

館内でのメモやスケッチについて

※鉛筆のみ使用可能です。消しゴムは使用できません。
ボールペン、マジック、また先端部分が金属製で作品やガラスを傷つける可能性のあるシャープペンシルは使用できません。なお、鉛筆の先端部分が作品を傷つける場合もありますので、館内でのメモやスケッチは充分注意をしながら行いましょう。下敷きや画板もご用意下さい。美術館の壁やガラスを下敷きの代わりに使用しないで下さい。

マナーを大切に

美術館は学校や個人の家とは異なる、不特定多数の人が利用する公共空間です。他の方への配慮を忘れずに鑑賞を行いましょう。公共施設での利用マナーを考える事も、美術館での鑑賞学習の一つです。携帯電話はマナーモードをお願いします。

※当館では、引率される先生方に鑑賞のマナーや注意事項を指導して頂いています。